

1. 工事名 筑波大学周辺樹林植栽工事(Ⅰ)
 1. 工事位置 茨城県新治郡櫻村天王台1丁目(番地) 筑波大学構内(別紙・位置図参照)
 1. 工事期間 着工 昭和59年1月25日、しん工期限 昭和59年3月30日
 1. 工事内容等

1. 土砂・掘削運搬および敷均し (947^m) 別紙参照
 0. 除草

図面番号	場所	標尺	林内	計
	1. 天通り	4242	3811	8053
	栗原通り	6393	3113	9506
	藤次豊野北	897	3260	4157
	迂回路北	5604	449	6053
	迂回路南	7404	2983	10387
	計	24740	13616	38356

八. 植栽工事

移植工事

図面番号	場所	樹高					幹周 (cm)					計					
		30~49	50~99	100~149	150~199	200+	9~11	12~16	17~19	20~24	25~29		30~34	35~49	50~71		
	1. 天通り				24	86	48	30	15	14	40	29	17	36	19	396	
	栗原通り				11	52	16	31	58	61	78	69	30	70	11	457	
	藤次豊野北				6	45	19	15	8	6	21	12	9	31	4	176	
	水田温草東	148			7	7		2	4	4	2			6	3	187	
	迂回路北	309					4	14	17	10	15	3				372	
	迂回路南	348					123	108	158	45	15	18	9	1	19	7	851
	街路樹						22										42
	計	805			48	333	195	250	150	80	176	124	74	162	44	2441	

新規工事

図面番号	場所	樹高					幹周 (cm)					計				
		30~49	50~99	100~149	150~199	200+	9~11	12~16	17~19	20~24	25~29		30~34	35~49	50~71	
	1. 天通り	490	36			71	103	145	130							975
	栗原通り	598	185			146	105	441	89	174			25			1763
	藤次豊野北	325				14	2	364	10	74			7			796
	水田温草東	16	20	318		60	122	13								549
	迂回路北			156	140	66	244	78	284	73	65					1103
	迂回路南	21	276	381	48	529	109	160	138							1662
	街路樹															65
	計	97	1845	1060	114	993	684	1365	317	646						6913

養生・その他 (移植工事分)

図面番号	場所	本数	(B)		支柱		計	巻土 (m ²)
			ハーフ埋肥	培成腐肥	本支柱 (1.8m)	脚柱 (1.5m)		
	1. 天通り	356	930.25	1,875	176	180	356	
	栗原通り	497	1491.75	2,340	83	374	497	
	藤次豊野北	176	495.75	691.5	20	96	176	
	水田温草東	187	144.75	935	162	25	187	19.016
	迂回路北	372	263.25	2,175	309	41	372	
	迂回路南	851	876.75	6,780	348	60	442	1
	街路樹	42	158.75	1,085	22	3	42	
	計	2441	4,359.75	16,125	819	462	1,142	18

(新規工事分)

図面番号	場所	本数	(B)		支柱		計	巻土 (m ²)
			ハーフ埋肥	培成腐肥	本支柱 (1.8m)	脚柱 (1.5m)		
	1. 天通り	975	714.75	5,425	490	50	349	939
	栗原通り	1763	1,378.25	10,725	918	211	634	17.63
	藤次豊野北	796	624.75	3,990	325	14	497	796
	水田温草東	549	309.75	2,745	394	195	549	29.047
	迂回路北	1103	971.75	8,515	347	150	440	947
	迂回路南	1662	13,687.5	11,515	724	343	298	13.65
	街路樹	65	260.75	6.65			65	65
	計	6913	56,200	45,325	3158	963	2303	6424

特記仕様

1. 本工事実施の順序並びに方法については、文部省発注工事請負契約基準、契約書、土木工事標準仕様書、特記仕様書および図面にもとづくものとする。実施の細節および図面等に記載あるときは、甲が通知した監督員(以下「監督員」という)の指示に従うこと。

1. 土砂・掘削運搬および敷均し

- ・図(2-15)に依り土砂と腐植土、指定された所(1000^m)敷均しするものとする。
- ・切土勾配は1:0.5とし、盛土勾配は1:1.2とする。敷均しについては、監督員が指示によること。
- ・ダンプ等土木機械の出入は指定された所から行ない、除草・掘削・破砕防止処置を要すること。
- ・車道へ落下した土砂はすみやかに排除すること。U字溝・管溝も行うこと。

0. 除草

- ・植栽工事完成後除草を行うものとする。(既に除草してある区域は除く)
- ・刈払いにもよって発生する雑草は、安全な場所に集積し、焼却処分とする。この場合、事前に消防署に届け、火災には十分に注意すること。

八. 植栽工事

- ・植栽と掘削の前に、植栽区域および周辺のゴミ、コンクリート塊等植栽に支障のあるものはすべて除去し、指定された所(深さ)以上に埋める処理を要すること。また、植栽の凹凸を、監督員が指示により整地すること。
- ・ハーフ埋肥、培成腐植土等の処理は、1ヶ所まとめて一括処分すること。
- ・既設構造物、樹木等を損傷しないよう十分注意すること。もし損傷した場合は、監督員と連絡の上、請負業者責任において修復すること。

植穴

- ・樹木の植栽位置は、図面に基づいて決め、石標等により位置の確認を要すること。
- ・植穴の最低径は、樹木の根元(幹)の大きさに別表(幹)に示すが、植穴周辺は可能限り掘起してあること。
- ・街路樹、林内植栽、苗木(50cm未満)の植穴は原則として半径とする。街路樹、シラカシ等については、植穴の大きさは、樹木の大きさを要すること。
- ・工事中は、通行人あるいは地車等に対し、安全策を要すること。(幹の街路樹の場合)
- ・掘削した土は、埋戻し土と区別して敷均すものとする。
- ・林内(1.8m未満)、栗原通り、藤次豊野北、迂回路北、)に植栽する樹木の位置決定は、監督員が指示により行うものとする。(位置図と投土のこと)

樹木・掘取り

- ・移植する樹木個体については、別に指示する。掘取りは、牙へり鉢上つきとし、鉢の大きさは、根元直径の5~6倍以上とし、埋戻し土は、指定した根元とする。
- ・掘取樹木については、指定した根元(幹)の大きさに別表(幹)に示すが、掘取りは、根元の大きさを要すること。
- ・掘取樹木については、掘削の掘込みとする。すべて根幹つきとし、根幹の大きさは、根元の場合と同じとする。
- ・幹元の指示(幹)があるものは、一般仕様により行うものとする。
- ・直径1.8m以上の樹木は、根元は、クルミ(幹)の4倍の大きさを要すること。

植付

- ・ハーフ埋肥、培成腐植土の施用量は、別表(幹)による。施用後は、植穴をよく押し、この分量と混和し、残り1/2量の埋戻し土と十分混和し、掘取りの土とする。
- ・水田・温草東周辺植栽、街路樹植栽(シラカシ)は、別表(幹)の通り着土するものとする。着土に用いる土は、黒土と主とする。また、この地域は、植栽に十分な注意を要すること。
- ・埋戻しは、粘土の混入と極力避け、深掘りにならないよう留意し、ハーフ埋肥、培成腐植土と根幹が十分密着するよう十分注意すること。
- ・掘取りの掘取りは、24時間以内に完了することと原則として、作業と進行すること。
- ・林内での移植・掘取りは、樹木の大きさと考慮して行うこと。また、掘取土を乱さないよう注意すること。

保護・養生

- ・各樹木の支柱は別表(幹)による。取付仕様は、別図(2-15)による。丸太については、スズヒギシロ、フレキシコト2回塗りのものとする。
- ・街路樹の丸太・結束、ハシ掛けの竹の結束は、亜鉛引鉄線φ16のものを18ヶ所とする。その他は監督員が指示によること。
- ・支柱の方向については、監督員が指示によること。

その他

- ・植栽と掘削の間の期間に、監督員が指示するものとする。
- ・ハーフ埋肥は、良・発酵したものを使用すること。また使用に際しては、培成腐植土と10kg混入のものを要すること。

植栽履歴(移植木)

- ・植栽履歴は、引渡後1年以内の植栽、技術指導、樹形育成等を行った場合は、発注者と請負者との協議して定め、明細に発注者と指定した監督員と請負者の責任において植栽履歴を記載すること。ただし、明細に請負業者が責任を負う場合は、請負者が樹木を管理するものとする。また、その他やむを得ない理由による場合は、両者協議の上、処理方法を決定すること。

工事記録写真

- ・工事記録写真は、次のものを提出すること。

区	内容	大きさ	種類	枚/組	注
1	着工前写真	42cm	植栽	1	着工前、1.8m未満の同一場所の同一方向に撮影し、裏面に工事番号、場所、撮影日時を記入すること。
2	着工中写真	42cm	掘削	1	掘削した所の掘削方向を明示し、図面内を参照すること。
3	着工後写真	42cm	植栽	1	植栽した所の掘削方向を明示し、図面内を参照すること。

- ・工事記録写真は、撮影した樹木の植栽履歴を、樹木のラベルと合わせて提出すること。
- ・写真は指定したアルバムに撮影済み写真を整理して提出すること。